

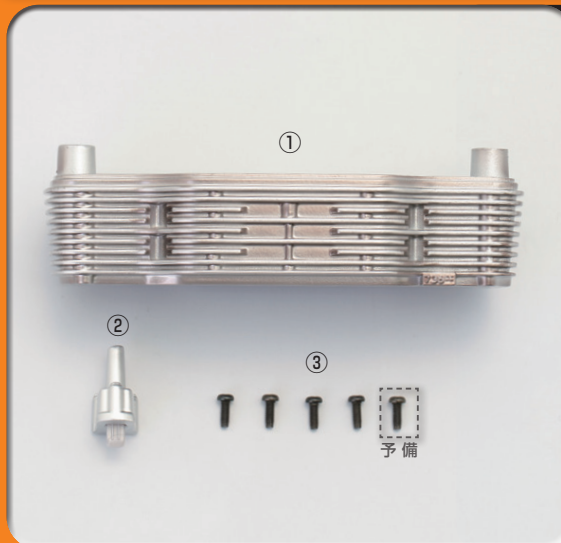
## 今号の作業

# シリンダーヘッドを組み立てる③



今号では「シリンダーヘッドA」と「テンショナーホルダー」を提供する。先に提供したシリンダーヘッド系パーツと組み合わせることで、シリンダーヘッドを完成させることができる。作業には+（プラス）ドライバー（1番／ロングタイプ）を用意しよう。

### 今号のパーツ



- ①シリンダーヘッドA×1
- ②テンショナーホルダー×1
- ③ビス(Eタイプ)×5  
(※1本は予備)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

### 使用する道具

・+（プラス）ドライバー  
（1番／ロングタイプ）

### 用意するもの

・クランクケース(40号で組み立てたもの)  
・シリンダーヘッドカバー } (42号で仮組みしたもの)  
・シリンダーヘッドC }  
・シリンダーヘッドB }

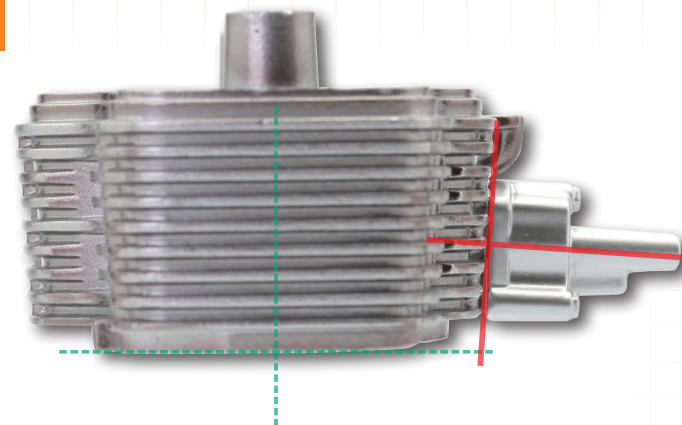


①シリンダーヘッドAと②テンショナーホルダーを用意し、シリンダーヘッドAの背面に設けられた半円状の穴へ、テンショナーホルダーのジョイント部を差し込む。ジョイント部も半円状なので、穴の形に合わせて差し込む。



テンショナーホルダーを奥までしっかりと押し込む。シリンダーヘッドA背面の取り付け部との間に、すき間ができないようにする。

STEP  
3



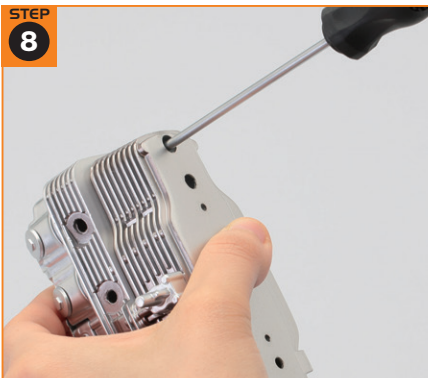
テンショナーホルダーを取り付けたシリンダーヘッドAを真横から見たところ。テンショナーホルダーは、斜め下に傾いた状態で固定される。

STEP  
4

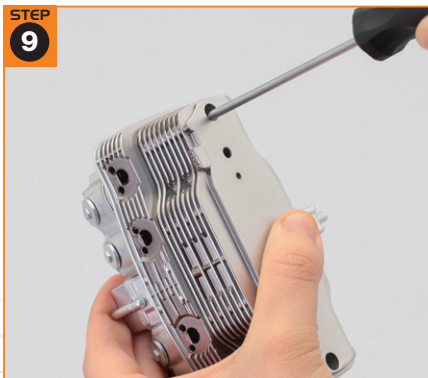
前号で仮組みしたシリンダーヘッドカバー、シリンダーヘッドC、シリンダーヘッドBのマスキングテープをゆっくりとはがす。

STEP  
5

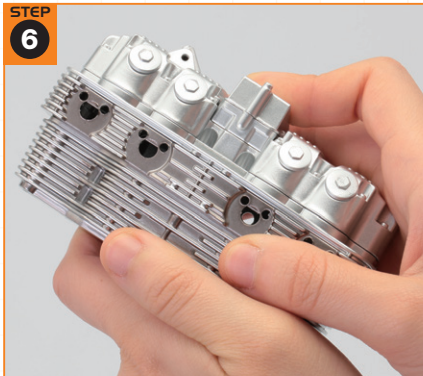
シリンダーヘッドカバー側のパーツが外れないよう保持したまま、底面にシリンダーヘッドAを写真のようにセットする。この時、パーツ前後の向きを間違えないよう、写真でよく確認しよう。シリンダーヘッドカバーに示した赤丸(右上)は、上面中央の出っ張りが高い側。シリンダーヘッドAに示した赤丸(左下)は、②で取り付けしたテンショナーホルダーだ。

STEP  
8

ロングタイプドライバーを使い、穴へ落とし込んだビスをゆっくりとねじ込む。

STEP  
9

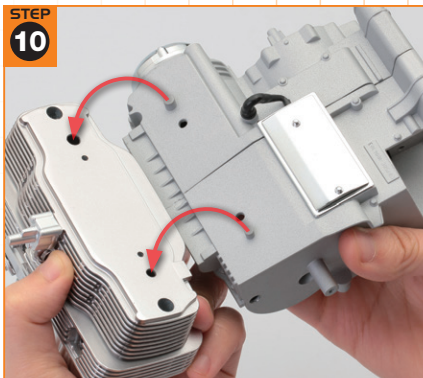
反対側のビス穴にもEタイプのビスを落とし込み、ロングタイプドライバーを使ってねじ込む。

STEP  
6

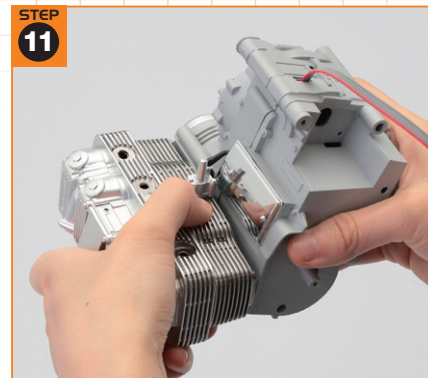
パーツを両側から軽く押し込み、シリンダーヘッドBの底にシリンダーヘッドAをはめ込む。

STEP  
7

シリンダーヘッド系パーツが外れないよう保持したまま、写真で示したビス穴へ③ビス(Eタイプ)を落とし込む。

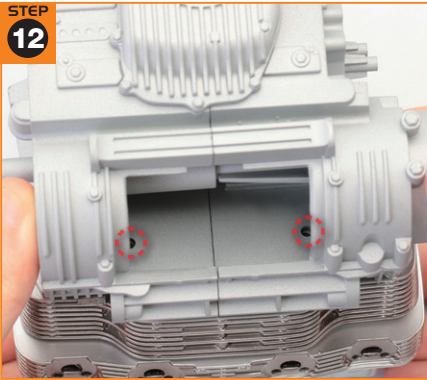
STEP  
10

40号で組み立てたクランクケースを用意し、⑩で組み立てたシリンダーヘッドを写真の向きで取り付ける。

STEP  
11

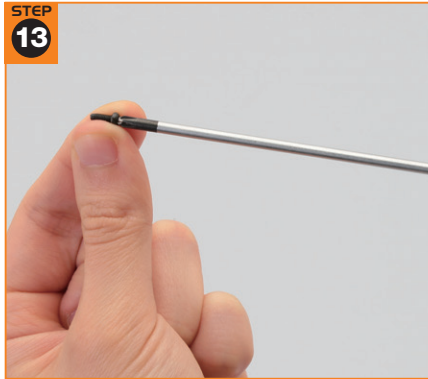
クランクケースの上面に突き出した2本のポストを、シリンダーヘッドA底面の穴にしっかりとめ込む。

STEP  
12



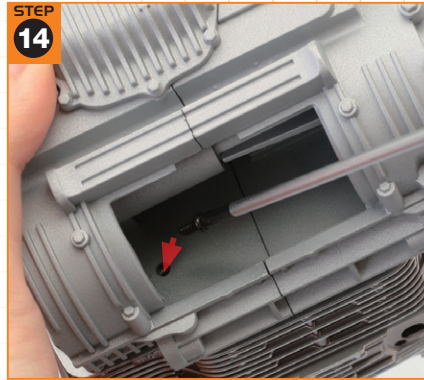
クランクケース前面・下部に設けられた開口部から中をのぞいて、写真の位置の2個のビス穴を確認しよう。

STEP  
13



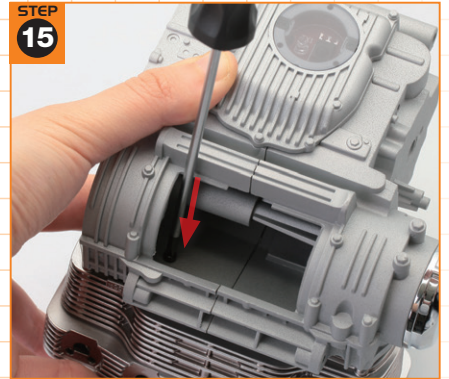
ロングタイプ・ドライバーの先端に、Eタイプのビスをあらかじめ取り付けておく。取り付けにくい場合は、ドライバーを事前に着磁しておくとなお落ちにくくなる。

STEP  
14



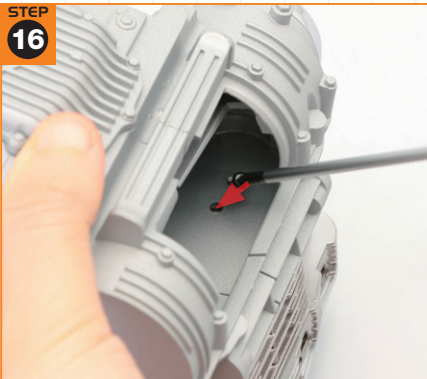
クランクケース内側のビス穴へ、Eタイプのビスを差し込む。

STEP  
15



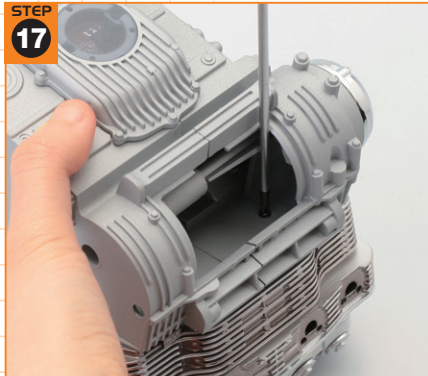
差し込んだビスを、そのままロングタイプ・ドライバーでねじ込む。写真のように、開口部の角部分にドライバーの軸を当てておくと安定するので、作業しやすい。

STEP  
16



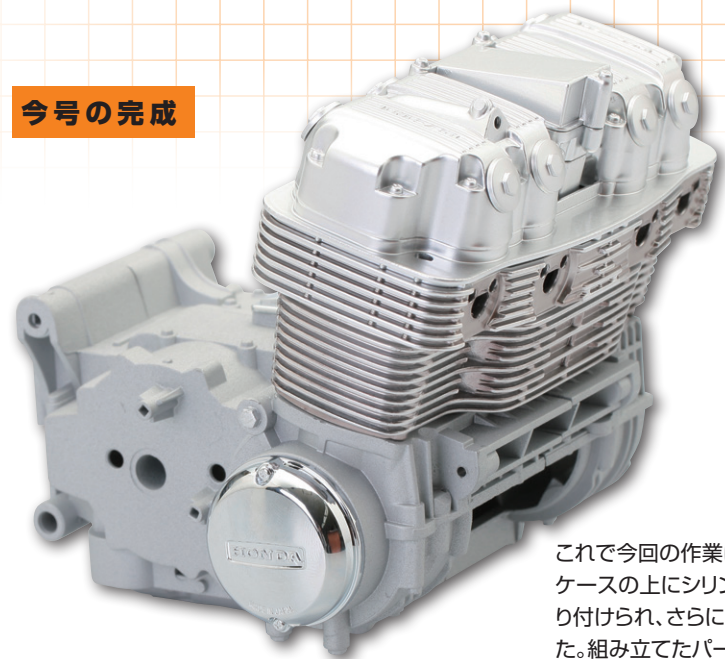
もう片方のビス穴にもEタイプ・ビスを差し込む。

STEP  
17



15の手順と同じ要領で、Eタイプ・ビスをしっかりねじ込む。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。クランクケースの上にシリンダーヘッド部が取り付けられ、さらにエンジンらしくなった。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。